

2 0 2 5 年 度

事 業 計 画 書

収 支 予 算 書

自 2 0 2 5 年 4 月 1 日

至 2 0 2 6 年 3 月 3 1 日

一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS

2025年度事業計画

1. 情報発信事業及び事務局基盤整備事業

■ 事業目標

1. 情報発信事業

SNS (X, Instagram, Youtube) のフォロワー数合計7万人(2025年度末)を目指す。そのため当財団事業の紹介を中心として、障害とアート・文化に関するコンテンツを幅広く開発、発信する。

2. 事務局基盤整備事業

組織のガバナンス強化のため、昨年度行った勤怠・経費精算・稟議システム導入に続き、会計業務の効率化と公益法人会計により即した会計の確立を目指し、新たな会計ソフトを導入。チェック機能を働かせられる経理・財務の業務フローを確立する。

■ 事業内容

1. 情報発信事業

事業及びウェブでの発信と連動した SNS (X, Instagram, Youtube, Facebook) の運用及びメールマガジンの配信を行う

2. 事務局基盤整備事業

(1) 新会計システムの運用

2. 歴史的価値の高い障害者アートの 2025 年度巡回展並びに共創の場づくり事業

■ 事業目標

2024 年度に滋賀県立美術館にて開催した、企画展「つくる冒険 日本のアール・ブリュット 45 人—たとえば、「も」を何百回と書く。」(2024 年 4 月-6 月開催)を 2025 年 7 月に北海道函館市及び 2026 年 2 月に沖縄県那覇市にて巡回企画展として開催する。

目標観覧者数- 総合計 20,000 人以上

■ 事業内容

1. 巡回展開催へ向けた企画準備事業

(1) 函館・開催のための準備業務

- a. 時期：2025 年 4 月～2025 年 10 月
- b. 場所：滋賀県大津市～北海道・函館市～滋賀県大津市、東京都千代田区
- c. 関係者：北海道立函館美術館、滋賀県立美術館、輸送業者他
- d. 内容：函館での展覧会開催に向けた作品・什器等の輸送・展示業務について、2024 年度の契約を元に事前箱作成、梱包、展示作業、撤去、返却などの一連の業務を行う。また、企画打合せ、関係各所との調整、作家紹介用の動画撮影や図録の制作支援などを行う他、営業広報ツール等の製作や東京からの発信等を行う。

(2) 沖縄開催のための準備業務

- a. 時期：2025 年 10 月～2026 年 6 月
- b. 場所：滋賀県大津市～沖縄県那覇市～滋賀県大津市、東京都千代田区
- c. 関係者：沖縄県立博物館・美術館、滋賀県立美術館、輸送業者他
- d. 内容：沖縄での展覧会開催に向けた、什器や輸送箱の保管を含む一連の業務と会期後の関連資材等の処分等を実施する。また、企画打合せ、関係各所との調整、作家紹介用の動画撮影や図録の制作支援等を行う他、営業広報ツール等の製作や東京からの発信等を行う。

2. 巡回展等の開催

(1) 北海道立函館美術館との展覧会の共催

- a. 時期：2025 年 7 月 12 日～2025 年 9 月 7 日
- b. 場所：北海道函館市、北海道立函館美術館
- c. 関係者：北海道立函館美術館、滋賀県立美術館、他
- d. 内容：滋賀県立美術館にて 2024 年 4 月から 6 月に開催された美術展「つくる冒険」展を巡回展として、北海道立函館美術館において同美術館と共催し、関係者向けの内覧会を実施する。

(2) 沖縄県立博物館・美術館との展覧会の共催

- a. 時期：2026 年 2 月 21 日～2026 年 3 月 29 日(会期の延長については調整中)
- b. 場所：沖縄県那覇市、沖縄県立博物館・美術館
- c. 関係者：沖縄県立博物館・美術館、滋賀県立美術館、他
- d. 内容：滋賀県立美術館にて 2024 年 4 月から 6 月に開催された美術展「つくる冒険」展を巡回展として、沖縄県立博物館・美術館において同美術館と共催し、関係者向けの内覧会を実施する。

3. 関連ワークショップやイベントの開催

(1) 展覧会に関連したワークショップやイベントの開催

- a. 時期：2025 年 4 月～2026 年 3 月
- b. 場所：北海道函館市 北海道立函館美術館、沖縄県那覇市 沖縄県立博物館・美術館等

3. 障害のあるアーティストをまじえた国際的なコンサートの開催

■ 事業目標

The Valuable 500、日本経済新聞社、日本財団が開催する国際会議「SYNC25 アカウンタビリティ・サミット」の開催に合わせて、同会議が終了する2025年12月4日の夜に、同会議参加者を対象としてTrue Colors Festivalのコンサートを実施する。

■ 事業内容

1. True Colors Festival SPECIAL CONCERT 2025 の開催

- (1) 時期：2025年12月4日
- (2) 場所：大本山増上寺大殿
- (3) 参加者：The Valuable 500 参加企業の経営層及びその関係者約250名
- (4) 内容：障害のあるアーティストと障害のないアーティストとのコラボレーションによる歌、楽器演奏、ダンス等を組み合わせた90～120分程度のステージを行う。英語・日本語で情報提供を行い、日本手話・国際手話のパフォーマーも全てのパフォーマンスに参加する。

4. 障害のあるアーティストによる学校での教育普及事業 (まぜこぜアートスクール)

■ 事業目標

1. 障害のあるアーティストを小学校などの教育機関、20校程度に派遣する出前授業を実施する。
2. 2026年度からの実施にむけた計画策定と学校や教育関係機関への広報ツールの開発を行う。

■ 事業内容

1. まぜこぜアートスクール実施
 - (1) 時期：2025年4月～2026年3月
 - (2) 場所：調布市・横浜市内、関東近郊、関東以外1か所（関西など）小学校・中学校・高等学校・特別支援学校
 - (3) 参加者：生徒・教員合計2,000人程度（1校1学年対象 約100名×20校）、
 - (4) 内容：障害のあるアーティストによる出前授業を行う。講師による多様な表現手段を講義、デモンストレーションにて示した後、生徒が参加するワークショップを行うことで、障害や多様性について新たな視点を提供し、共生社会について生徒が主体的に考え始めるきっかけを提供する。
2. まぜこぜアートスクール実施のための調査・計画・広報策定
 - (1) 時期：2025年4月～2026年3月
 - (2) 場所：事務局、全国 他
 - (3) 参加者：アーティスト、学校・教育委員会など関連機関、官公庁関連機関、子ども向けワークショップ事業者、広報関係事業実施者 他
 - (4) 内容：学校をふくむ教育機関などへのプログラム案内のための広報ツール（紙媒体及びウェブサイト）、を制作する。様々なジャンルや障害種別のアーティストを講師として迎え、プログラムとして共通の深い気づきを提供しつつも、講師に合わせて柔軟に展開できる手法を開発するため、講師候補の調査、先行事例や類似事例についての調査を行う。学校から求められるプログラムとなることを視野にいれ、活動を広げ、持続させる仕組みを構築するための計画を策定する。

日本財団DIVERSITY IN THE ARTS 収支予算

2025年4月1日～2026年3月31日

収入の部		支出の部	
事業活動収入		事業活動支出	
1. 事業活動収入	273, 370, 025	1. 事業活動支出	200, 195, 000
基本財産運用収入			
基金取崩収入	273, 370, 000		
情報発信事業及び事務局基盤整備事業	108, 970, 000	情報発信事業	35, 795, 000
歴史的価値の高い障害者アートの巡回展並びに共創の場づくり推進事業	72, 200, 000	歴史的価値の高い障害者アートの巡回展並びに共創の場づくり推進事業	72, 200, 000
障害のあるアーティストによる学校での教育普及事業(まぜこぜアートスクール)	19, 000, 000	障害のあるアーティストによる学校での教育普及事業(まぜこぜアートスクール)	19, 000, 000
障害のあるアーティストをまじえた国際的なコンサートの開催	73, 200, 000	障害のあるアーティストをまじえた国際的なコンサートの開催	73, 200, 000
雑収入(受取利息)	25		
2. 投資活動収入	0	2. 管理費支出	73, 175, 000
		3. 予備費支出	0
当期収入合計	273, 370, 025	当期支出合計	273, 370, 000
前期繰越収支差額	1, 982, 438	当期収支差額	25
収入合計	275, 352, 463	次期繰越収支差額	1, 982, 463

